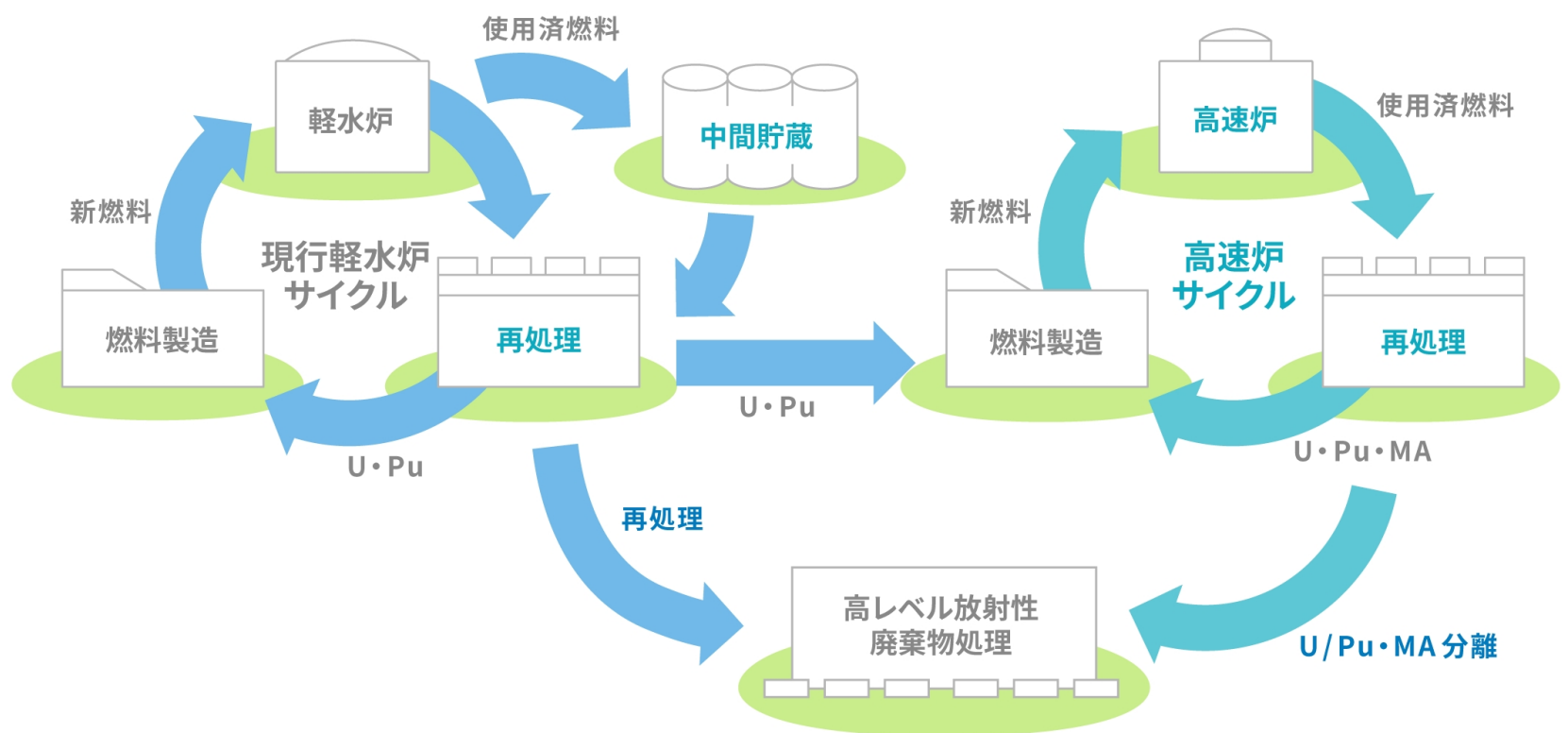


核燃料サイクルとは



核燃料サイクルとは、原子力発電所で使い終えた燃料（使用済みとなった核燃料）を再利用するしくみです。使用済核燃料から再処理したプルトニウムとウランを混ぜて「MOX（Mixed Oxide）燃料」として加工した後、原子炉で再び発電に活用します。

原子力発電では、燃料を使用した後に高レベル放射性廃棄物が発生します。そのまま処分する方法もありますが、再処理を行えば、資源を有効利用できるだけでなく、廃棄物の量を大幅に削減できます。さらに、高レベル放射性廃棄物は長期間にわたり強い放射線を放出しますが、再処理によって有害な成分を分離し、その影響を低減できるなど、核燃料サイクルにはさまざまなメリットが期待されています。

現在は青森県六ヶ所村において、核燃料サイクル施設の建設・運用が進められています。これには、ウラン濃縮工場、再処理工場、低レベル放射性廃棄物埋設センター、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターが含まれます。

関連リンク

[燃料サイクル](#) 